

7/12(木) 都市ビジネスコースシンポジウム
「イノベーション都市:大阪の新しい挑戦 ~次々と誕生するイノベーション拠点と今後の展望」

趣旨 サステナブルな都市経営においては、人材や情報・投資が集まり、つながることでイノベーションが創発され、経済・産業が活性化する仕組みが重要である。本シンポジウムは、イノベーション都市をめざす大阪のチャレンジについての基調講演をもとに、その新たな展開として、市の助成を受けて開設したイノベーション拠点(9拠点「交流の森」「オギャーズ梅田(Ogyaa's 梅田)」「billage OSAKA」「GVH#5」「知識創業研究センター (I2K Osaka)・L-nest Innovation HUB」「Garage Minato」「ガレージ大正」「Recree 堂島(仮称)」「オープンテクノロジーセンター ROBO&PEACE)を紹介する。最後に、登壇者と講演参加者との対談形式で、大阪におけるイノベーション創発についてディスカッションを行う。

【講師】吉川正晃氏
(株) Human Hub Japan 代表(元:大阪市経済戦略局理事)
大阪市が、グランドフロント内に設置した「大阪イノベーションハブ(OIH)」の推進担当として公募で選出され、市のイノベーション行政全般に携わる。民間時代は、海外のITベンチャー企業をはじめ多くの企業と提携を行い、新規事業の立ち上げや企業経営を行う。自らの経験から、「変化の激しい時代は、人は会社に就職するのではなく、産業や街に就職するようになる」とし、「街全体を一つの職場にする運動」:「HackOsaka 運動」を大阪市時代に提唱し、肩書、組織、国籍を超えた共創環境造りをテーマにして今も活動中。一般社団法人日本スタートアップ支援協会、ベンチャー企業等の顧問を務める。中小企業診断士。

【コーディネータ】小関珠音(都市経営研究科准教授)
博士(学術)、東京大学。一橋大学経済学部卒業後、日本興業銀行等へ勤務。一橋大学大学院(修士(経営)及修士(経営法))終了後、複数のベンチャー企業の創業及び経営に携わると同時に、横浜市立大学、山形大学産学連携等を経て、2016年より本学創造都市研究科准教授。研究テーマは、大学発ベンチャー、イノベーション、及び戦略的提携。著書に『企業提携と市場創造—有機EL分野における有機的提携』(白桃書房)など。

7/13(金) 都市行政コースシンポジウム
「政策評価の現状と課題」

趣旨 政策の効果的な実施に当たっては、不断の見直し、改善を行っていく必要があります。こうした政策の見直し、改善に際して、政策評価制度は非常に重要な役割を果たしています。今回は、平成14(2002)年に導入されて以来15年余りが経過した国の政策評価制度に関し、その現状と課題についてご講演いただきます。

【講演者】大槻大輔氏(総務省行政評価局政策評価課長)
1993年総務庁(現、総務省)入庁。在ベルギー大使館一等書記官、千葉県山武市副市長、行政管理局行政手続・制度調査室長、行政管理局管理官(行政通則法担当)などを歴任。

【コーディネータ】高野恵亮(都市経営研究科教授)
法政大学大学院社会科学部研究科博士後期課程修了・博士号(政治学)。著書『戦後子下記における議員立法』。立法過程や環境政策の形成過程、行政手続きの透明性向上に関する制度を研究。

6/23(土) 都市政策・地域経済コースシンポジウム
「公立図書館と地域社会の絆 - 宮津 / 伊丹 / 和歌山」

趣旨 「地域における知の拠点」であるとともに、地域文化の継承、地域住民等の出会いの場の提供を通じて地域社会のニーズを汲み取り、地域価値創造に邁進されている公立図書館(3自治体)の関係者を講師としてお招きしました。「市町村立図書館は、知識基盤社会における知識・情報の重要性を踏まえ、資料や情報の提供等の利用者及び住民に対する直接的なサービスの実施や、読書活動の振興を担う機関として、また、地域の情報拠点として、利用者及び住民の要望や社会の要請に応え、地域の実情に即した運営に努めるものとする」(「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」(第一総則三運営の基本2))とされています。公立図書館の運営には、自治体の直営のみならず指定管理者制度の活用もありますが、下記の疑問について3自治体の具体的な取組みのご紹介を講師の皆さまからお話いただき、会場の皆さまと意見交換を行って参ります。市としてどのような視点から、地域社会を巻き込んで公立図書館を運営されているのか?公立図書館サービスを通じて、地域社会を具体的にどのように変えようとしているのか?いっしょに考えましょう。

【パネリスト】河原哲也氏
(宮津市立図書館教育委員会事務局社会教育課長)
1989年宮津市役所入庁。総務部総務課・議会事務局・健康福祉室を歴任。2016年教育委員会事務局社会教育課長。市立図書館のショッピングセンターへの移転整備。

【パネリスト】綾野昌幸氏(伊丹市立図書館館長)
関西学院大学法学部卒。伊丹市教育委員会生涯学習部参事兼図書館長。伊丹市立図書館は先進的な図書館に与えられる“Library of the year2016大賞”受賞。

【パネリスト】坂下雅氏(和歌山市民図書館館長)
1989年和歌山市役所入庁。和歌山市役所入庁後30年間の内、通算で20年間、障害者支援を担当。2017年4月に市民図書館長に着任。2019年秋に駅直結のビル内に新図書館オープン。

【コーディネータ】遠藤尚秀(都市経営研究科教授)
関西学院大学大学院経営戦略研究科博士課程後期課程修了。博士(先端マネジメント)、公認会計士、英国勅許公共財務会計士。会計専門職大学院・自治大学校・福知山公立大学地域経営学部等で公会計論・内部統制論・管理会計関連科目について教鞭をとりつつ、国家/地方公務員・地方議員向け研修、包括外部監査等に携わる。グッド・ガバナンスを参考にしつつ、公会計をベースに地域経営論を研究。

7/9(月) 都市行政コースシンポジウム
「自治体環境行政法の最前線」

趣旨 良好な生活環境のなかで豊かに暮らせるように、住民は、自治体職員に行政運営を託しています。自治の深化が求められる現在、自治体職員は、自治力を高める課題に取り組みなければなりません。どのように発想し、どのように議論すべきか。その一端と一緒に考えてみましょう。

【講演者】北村喜宣氏(上智大学法学部教授)
1960年京都市生まれ。神戸大学法学部卒業。横浜国立大学経済学部助教授などを経て、現在、上智大学法学部教授。専攻は行政法学、環境法学。近著として、『空き家問題解決のための政策法務』(第一法規)、『リーガルマインドが身につく自治体行政法入門』(ぎょうせい)、『環境法』(有斐閣)、『自治力の挑戦』(公職研)など。

【コーディネータ】久末弥生(都市経営研究科教授)
北海道大学大学院法学研究科博士後期課程修了・博士(法学)、フランス国立リモージュ大学大学院法学研究科正規留学、アメリカ合衆国テネシー州ノックスビル市名誉市民。主な単著に『考古学のための法律』(日本評論社)、『都市計画法の探検』(法律文化社、第25回国際公共経済学会学会賞受賞)、『現代型控訴の諸相』(成文堂)など。

7/27(金) 都市ビジネスコースシンポジウム
「デジタルコンテンツを活用した都市ビジネスづくり」

趣旨 日本社会は、総人口の減少や少子高齢化、および地域衰退などの大きな課題を抱えています。しかし、2020年のオリンピック・パラリンピックなどに向けてインパウンドの観光客が急増しております。また、東京および京都以外の地方都市への旅行も増加しております。日本のお家芸ともいえるデジタルコンテンツ(漫画やアニメやゲームなど)によって新しい都市型ビジネスの創造や地方創生に寄与することが考えられます。そこで、その成功例や実践例から、関西ひいては日本各地の発展の可能性を考えるために、本シンポジウムを開催することとなりました。

【基調講演】「デジタルコンテンツ産業の現状と展望」山本純氏
(一財) デジタルコンテンツ協会事務局長
関西大学卒業。1986年より経済産業省と文化庁の共管団体である(財)ソフトウェア情報センターにて、ソフトウェアの知的財産権に関する調査、国際シンポジウム企画運営等に従事。1999年より現協会においてコンテンツ産業動向調査、知的財産権調査、デジタルコンテンツ白書事業等に従事。

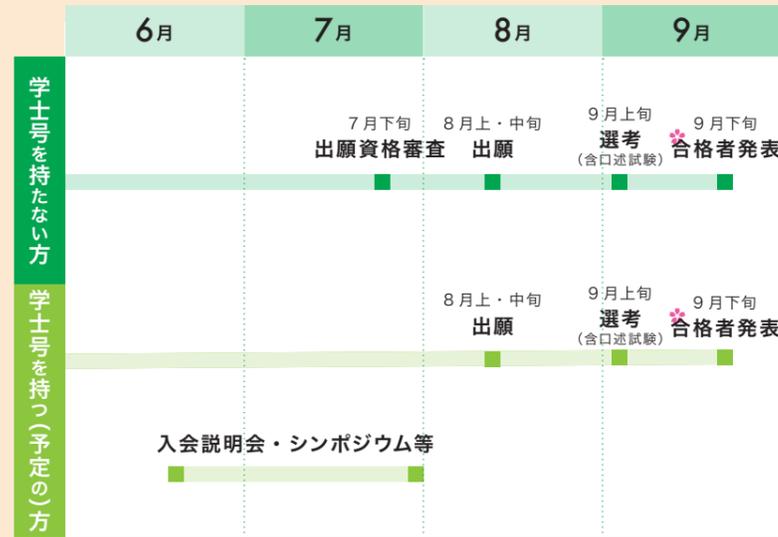
【招待講演】「コンテンツツーリズムによる地域創生」中村忠司氏
(大阪観光大学観光学部教授、同大学観光学研究所所長)
法政大学大学院政策創造研究科修了(修士:政策創造)。1961年生まれ、大阪府出身。1984年日本交通事業社(現 JTB コミュニケーションデザイン)に入社。観光関係のプロモーション企画責任者、旅の販促研究所副所長、広島営業部長を経て、2016年より現職。コンテンツツーリズム学会理事、日本フードツーリズム学会理事、日本観光研究学会会員、日本国観光学会会員、地域活性化学会会員、日本観光ホスピタリティ学会会員。

【研究報告】上根学氏(株)ジュエリーカミネ社長)
「コンテンツ・キャラクターの活用による新ビジネスの創造—手塚・ベルばら・サンリオなどのライセンスビジネスを地域とともに展開する」
大阪市立大学大学院創造都市研究科修了。創業明治39年112年続く(株)ジュエリーカミネの4代目であり、手塚治虫、サンリオなど日本を代表するキャラクターを宝石で描く「ジュエリー絵画」を世界に発信。

【コーディネータ】近藤彦(都市経営研究科教授)
広島大学大学院生物圏科学研究科博士課程後期環境計画学単位取得退学。その後、小樽商科大学、島根県立大学などをへて現職。その間、東京大学社会情報研究所・研究員、北東アジア地域研究センター主任研究員、科学技術振興機構・非常勤研究員など。

(注意) これは概略です。詳細に関しましては最新の募集要項で必ず確認下さい

《修士課程》夏季入試スケジュール概要(予定)



大阪市立大学大学院 都市経営研究科 入試説明会・連続公開シンポジウム

会場：梅田 = 大阪駅前第2ビル 6F 大阪市立大学梅田サテライト、杉本 = 大阪市立大学学術情報センター 1F

- 梅田 6/15(金)** 18:30~21:00
 都市行政コースシンポジウム
「地域共生社会の実現に向けて-社会福祉協議会の役割を中心に-」
 西嶋善親氏(大阪市社会福祉協議会常務理事、元大阪市福祉局長)【コーディネータ】五石敬路(都市経営研究科准教授)
- 梅田 6/16(土)** 15:30~17:30
第1回入試説明会
- 梅田 6/23(土)** 15:30~17:30
 都市政策・地域経済コース「**公立図書館と地域社会の絆**」
 シンポジウム
 河原哲也氏(宮津市立図書館教育委員会事務局社会教育課課長)、綾野昌幸氏(伊丹市立図書館館長)、坂下雅氏(和歌山市民図書館館長)【コーディネータ】遠藤尚秀(都市経営研究科教授)
- 梅田 6/27(水)** 18:30~21:00
第2回入試説明会
- 杉本 7/1(日)** 14:00~17:00
 医療・福祉
 イノベーション経営コース **入試説明会**
 ●会場は、大阪市立大学杉本キャンパス学術情報総合センター1階文化交流室
 ※当日参加不可の方は、kawamurat@osaka-cu.ac.jp までご連絡ください。
- 梅田 7/9(月)** 18:30~21:00
 都市行政コース
 シンポジウム **「自治体環境行政法の最前線」**
 北村喜宣氏(上智大学法学部教授)【コーディネータ】久末弥生(都市経営研究科教授)
- 梅田 7/12(木)** 18:30~21:00
 都市ビジネスコースシンポジウム
**「イノベーション都市：大阪の新しい挑戦
 ~次々と誕生するイノベーション拠点と今後の展望」**
 吉川正晃氏((株)Human Hub Japan 代表、元：大阪市経済戦略局理事)
 【コーディネータ】小関珠音(都市経営研究科准教授)
- 梅田 7/13(金)** 18:30~21:00
 都市行政コース
 シンポジウム **「政策評価の現状と課題」**
 大槻大輔氏(総務省行政評価局政策評価課長)【コーディネータ】高野恵亮(都市経営研究科教授)
- 梅田 7/14(土)** 15:30~17:30
第3回入試説明会
- 梅田 7/23(月)** 18:30~21:00
 都市政策・地域経済コースシンポジウム
「都市・地域で問われる現代アートのカ-金沢|石巻・牡鹿半島|大阪」
 島敦彦氏(金沢 21 世紀美術館館長)、和多利浩一氏(ワタリウム美術館 CEO、キュレーター)、雨森信氏(Breaker Project ディレクター/大阪市立大学都市研究プラザ特別研究員)
 【コーディネータ】吉田隆之(都市経営研究科准教授)
- 梅田 7/27(金)** 18:30~21:00
 都市ビジネスコース
 シンポジウム **「デジタルコンテンツを活用した都市ビジネスづくり」**
 山本純氏(デジタルコンテンツ協会事務局長、中村忠司氏(大阪観光大学教授)、上根学氏((株)ジュエリーカミネ社長)【コーディネータ】近勝彦(都市経営研究科教授)

